

# こすもす

発行日：令和2年10月1日  
 発行者：市原市更級5丁目1-51  
 市原市立中央図書館  
よくよむ  
 TEL 0436 (23) 4946  
<http://www.library.ichihara.chiba.jp>

## そのときどうする？家族みんなで防災シミュレーションしてみよう！



令和元年台風第15号から1年が経ちました。近年経験したことのない風水害で、市原市に甚大な被害をもたらしました。『備えあれば憂いなし』。役立つ備えは人それぞれです。図書館には、防災のアイデアが詰まった本がたくさんありますので、探してみてください。



### 第2フロアで探してみよう！

### 防災地図、ハザードマップ

#### 『被災ママに学ぶ ちいさな防災のアイデア40』

著者：アベナオミ 出版：(株)学研プラス  
 出版年：2017年2月



#### 『もしも』に役立つ！おやこで防災力アップ』

著者：今泉マユ子 出版：清流出版(株)  
 出版年月：2017年8月



**防災マップ**  
 ※今年3月に全戸配布しました。大きくて見やすい地図です。ぜひお住まい地点を確認してみてください。

【上段】千葉県地震防災地図  
 【下段左、中央】養老川洪水ハザードマップ北部編、南部編  
 【下段右】村田川洪水ハザードマップ

### 『親子で出来る防災術』

展示期間：11月26日(木)まで  
 展示場所：1階中央カウンター前

### 非常用トイレを作ってみよう

- ①ダンボールにポリ袋を被せる。
  - ②中に凝固剤もしくは新聞紙を入れる。
  - ③段ボールで便座と蓋を作る。
- ※段ボールを2枚重ねにすると丈夫になります。目隠しがあるととってもいいかな。



### 「知の情報拠点」図書館の魅力を探る！

#### 放送・動画配信

【あいチャンネル放送】  
 10月2日(金)  
 ~22日(木)  
 午後1時~(15分間)  
 【市原市 Youtube 公式チャンネル】  
 CityIChihara

<https://www.youtube.com/user/CityIchihara>

#### 一日図書館員体験編



五井小学校6年生の仲良し3人組が、一日図書館員になります。体験を通して図書館の新しい魅力を発見します！

#### 「もっと前へ」な一冊編

『更級日記 一日記に綴られた平安少女の旅と物語への憧れ』



小出譲治市長おすすめ

著者：濱野京子 出版：岩崎書店 出版年月：2016年3月 菅原孝標女(すがわらのたかすえのむすめ)が、親の赴任先から都に戻るまでのエピソードや京での生活等を描いた古典の入門に最適な一冊です。

## 自宅で絵本の読み聞かせをしましょう

新型コロナウイルスが、未だ終息が見えない日々ですが、自宅にいる時間も毎日をお過ごしではないでしょうか。子どもたちとスキンシップを兼ねて絵本の読み聞かせをしてみませんか。



読み聞かせとは、生の声で誰かのために本を読んであげてくれることを言います。子どもを膝にのせて、また子どもと隣り合わせで本を読んであげたときに、ふとした子どもの反応が、読み手と聞き手の両方に満足感を与えてくれます。

ほとんどの絵本は絵と文字が合わさっておはなしの世界が広がっています。字がまだ読めない赤ちゃんや幼児が、ひとりで絵をみても楽しいお話に気づかないかもしれません。誰かに読んでもらって、はじめておはなしに出会えるのです。

ぜひ、小さいころから本の世界をあげてあげてください。また、字が読めるようになって本を読んであげることが大切です。「自分で読んでね。」と言わずに、大人の生の声で読んであげるこの体験が本好きを育てます。そして、大きくなって読んでくれたことは忘れないでしょう。

では、どんな絵本が読み聞かせに向いているかの目安をお話しましょう。



- ①絵を見ただけで大体のストーリーがわかる。
- ②テーマがわかりやすく、起承転結がはっきりしている。子どもが満足する結末。
- ③主人公にしっかり視点があてられている。
- ④言葉にリズムがあり、子どもに伝えたい日本語として美しい。
- ⑤ストーリーの進み具合と絵がぴったりあっている。です。

でも、家庭での読み聞かせで大切なことは、読み手はその本が好きであることです。好きでない本は楽しさが子どもに伝わりません。そしてその場限りではなくおもしろいと思ってもらえる本を読んであげてください。親子で楽しめる本が一番いいのです。

もし、迷ってしまったら、ぜひ図書館へいらしてください。たくさんの絵本がみなさんをお待ちしています。

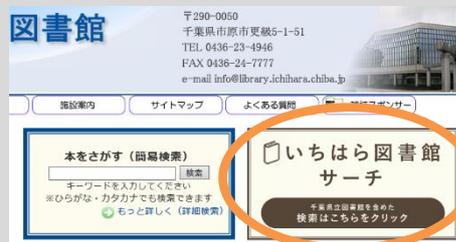
## いちほら図書館サーチ 利用開始

図書館ウェブサイトでは、9月15日(火)から、市内の図書館だけでなく、千葉県立図書館の本も検索できる「いちほら図書館サーチ」が利用できるようになりました。今までも、中央図書館の一部の利用者端末機(OPAC)では、県立図書館と市内図書館の本を同時に検索することが出来ていましたが、新たにこのサービスが加わりました。

県立図書館にお探しの本がある場合、お取り寄せすることができます。窓口でリクエストの手続きをしてください。

※全国7,200以上の図書館の本を検索したい場合は、「カーリル」へのリンクをご利用ください。  
「カーリル」とは、(株)カーリルが運営する、全国の図書館の蔵書・貸出し情報を検索できるサービスです。

### 図書館ウェブサイト トップ画面



県立図書館の本も検索できます!

クリック

建物マークにポイントをあてると各図書館の開館情報がでてるよ





—あらゆる人が読書を楽しむために—



「秋」といえば「読書」。文化の日を中心とした2週間 10/27～11/9は「読書週間」と定められています。この時期、図書館はあの手この手と知恵を絞って、皆さんが読書により親しんでもらおうとイベントを企画していますが、昨今の事情から、今年は大きなイベントを控えることになりました。

一つのお話や講演を多くの人で聞き、共有することは楽しく、話し手の意識や感性がそのまま伝わってくる有効な手段です。しかし、読書は目の前に一冊の本があり、独り読み手がその本の世界に入り込み体験や感動を習得するもの。今年は、この原点に立ち返り、一冊・一作の本やお話の世界にじっくりと浸っていただけたらと思います。

ところが、目の前に本があっても、目の不自由な方は、そのままでは本の世界を味わうことができません。そこで、目の不自由な方をはじめ、あらゆる人々に、書籍・新聞・雑誌等を楽しんでもらえるよう、国は令和元年7月8日に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」を施行しました。わかりやすく言い換えると、「視覚障害に限らず、発達障害、肢体不自由等の障害により通常の墨字（活字）本が読めない方に対して、大活字本（大きな文字の本）・点字図書、デイジー図書・音声読み上げ対応の電子書籍・オーディオブック等の電子書籍等（音声で内容が伝えられるような装置やソフト）を国や地方公共団体では準備・提供していきましょう」というものです。当図書館では、大活字本・録音図書といったソフトや拡大読書器等のハードもごございます。

～この秋も皆様が、一冊でも多くの感動や知識の恩恵に恵まれますように～。 (M)

《更級日記に関するお知らせ》

すでに“館報こすもす”や“広報いちほら”等でお知らせしていますが、今年は、「更級日記」の作者菅原孝標女(すがわらのたかすえのむすめ)が、上総国府(現在の市原市)から京を目指して旅立って、千年の節目を迎えました。

それに合わせるように、菅原孝標女(すがわらのたかすえのむすめ)が京を目指して辿った道程を調べることや、当時の時代背景を調べることを目的として来館されるお客様がいらっしゃいます。そのような御要望に少しでもお役に立てるよう、「更級日記」に関する図書の紹介をします。

新着図書

「更級日記上洛の記千年」

—東国からの視座

著者 和田 律子編 福家俊幸編

出版 武蔵野書院

出版年月 2020年7月

<内容>

菅原孝標女(すがわらのたかすえのむすめ)が少女時代を過ごした市原市。

菅原孝標女上洛千年を記念して、研究者による論考と市原の歴史等に想いを巡らせた寄稿文をまとめた論集です。



10月1日市民の日 記念展示

「市原ゆかりの本たち」

展示期間・場所：1階展示架 11月26日(木)まで 市内在住または関連のある作家の小説等の展示・紹介をします。

【利用制限の緩和について】

千葉県から新型コロナウイルス感染症に係る協力要請が発表されたことを踏まえ、利用人数制限を緩和します。また、閲覧席及び利用者端末、視聴覚ブースなどの利用を再開します。

今後も消毒の徹底、マスクの着用等の感染防止対策を徹底していきます。皆様の御理解と御協力をお願いします。

## 図書の消毒機を設置しました！

来館される皆様に安心・安全な読書環境を提供することを目的とし、図書の消毒機を3台設置しました。

第1フロアの中央カウンター付近に2台、児童室入口に1台設置しています。

セルフで利用できますので、皆さん、ぜひ御利用下さい。

また、詳しい使用方法につきましては、職員までお声掛けください。

紫外線ライトと消臭抗菌剤・送風装置で書籍の中に生息する各種ウイルスや病原菌、大腸菌などを**99.9%**除去します！

また、消毒機はCD、DVDにも使用することができます。

※ディスクをケースに入れたまま、ケースを開いて除菌してください。



## 職場体験・社会奉仕体験・図書館実習



7月から9月まで、12名の学校の先生や学生が図書館で実習を行いました。返ってきた本を棚に戻す、ポップカードを作る、図書の装備や登録を行うなど、図書館の裏方作業を体験していただきました。



今回、体験された方々は、「図書館の知らなかったことを知ることができて、とても勉強になりました」「普通学校では体験できない図書館の仕事の手伝いや説明を通して、将来に役立つ重要なことを学びました」など、感想を語ってくれました。

**実習の際に作成したおすすめ本のPOPを、秋の読書週間期間に本と一緒に紹介します。ぜひ御覧ください！**



### ≪中央図書館利用案内≫

★開館時間 午前9時30分～午後5時  
※水・金曜日は1階第1フロア・第2フロアのみ午後7時まで。ただし、祝日の場合は除く。  
※児童室・視聴覚コーナーは全日午後5時まで  
★貸出冊数・貸出期間  
図書・雑誌10冊まで。視聴覚資料2点までいずれも2週間。

★休館日 毎週月曜日  
毎月平日最終日（月末図書整理日）  
特別整理期間（蔵書点検等）  
年末年始（12月29日～1月3日）  
★図書利用カードを作るには、住所氏名の確認できるもの（運転免許証等）をお持ちください。

